

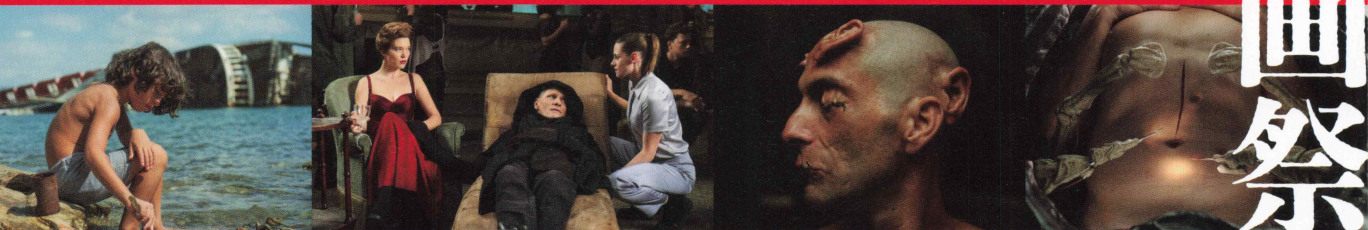


カンヌ 映画祭 が騒然!

『クラッシュ』『ヒストリー・オブ・バイオレンス』

鬼才デヴィッド・クローネンバーグ監督が描く強烈な近未来

『クラッシュ』『イグジステンズ』『ヒストリー・オブ・バイオレンス』など数々の受賞歴と共に物議を醸してきた映画作家デヴィッド・クローネンバーグ。第75回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品され賛否両論の問題作が、いよいよ日本公開となる。主演は『グリーンブック』のヴィゴ・モーテンセン。自身のカラダから臓器を生み出すアーティスト・ソールを演じ、そのパートナーのカプリースに『007/ノー・タイム・トゥ・ダイ』のレア・セドゥ、二人を監視する政府機関のティムリンに『スペンサー ダイアナの決意』のクリステン・スチュワートという豪華キャストが揃った。製作に20年以上を費やした最新作のテーマは「人類の進化についての黙想」。鬼才監督が創造する人類の進化とは？



カラダから生み出されるのは、希望か？ 罪か？

そう遠くない未来。人工的な環境に適応するよう進化し続けた人類は、生物学的構造の変容を遂げ、痛み感覚も消えた。“加速進化症候群”のアーティスト・ソールが体内に生み出す新たな臓器に、パートナーのカプリースがタトゥーを施し摘出するショーは、チケットが完売するほど人気を呼んでいた。しかし政府は、人類の誤った進化と暴走を監視するため“臓器登録所”を設立。特にソールには強い関心を持っていた。そんな彼のもとに、生前プラスチックを食べていたという遺体が持ち込まれる…。



本作は私がこれまでしてきたことを進化させた作品です。
私の作品を見たことのあるファンの方々なら、私の過去作で見たことのあるシーンや瞬間を見つけることができるでしょう。それは、人間の体と関連付けるといふ、以前から継続した私のテクノロジーに対する見解です。
—デヴィッド・クローネンバーグ監督
(※コメント一部抜粋/全文はHPに掲載)



監督・脚本: デヴィッド・クローネンバーグ
出演: ヴィゴ・モーテンセン、レア・セドゥ、クリステン・スチュワート
©2022年 / カナダ・ギリシャ / DCP5.1ch / アメリカンヒスタ / 英語 / 108分 / 原題: Crimes of the Future / 字幕: 映画祭
配給: クロックワークス / STAR CHANNEL MOVIES 提供: 東北新社 クロックワークス © 2022 SPF (CRIMES) PRODUCTIONS INC. AND ARGONAUTS CRIMES PRODUCTIONS S.A. © Screenplay: Paul Frazee
cotfmovie.com @cotfmovie

8.18 (fri) ロードショー